

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	文化芸術の振興	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-03-01		氏名	有吉隆之
			電話	64-1841	
			このシート作成に要した時間	2.0 時間	

この施策の アピール ポイント	県内の子どもを対象とする焼物作品展の実施は本市だけ。国民文化祭を継承する取り組み。
-----------------------	---

この施策の 平成24年度の 施政方針	次に、文化芸術の振興についてであります。平成22年度開催の国民文化祭で培われた次世代への伝統文化の継承という視点で、岡山県子ども備前焼作品展を継続開催し、また、23年度設置した埋蔵文化財管理センターでは、新たに子どもを対象にしたワークショップを開催いたします。また、東備西播定住自立圏関連の事業では、お互いの歴史文化を相互に理解するため、巡回展を開催いたします。
--------------------------	---

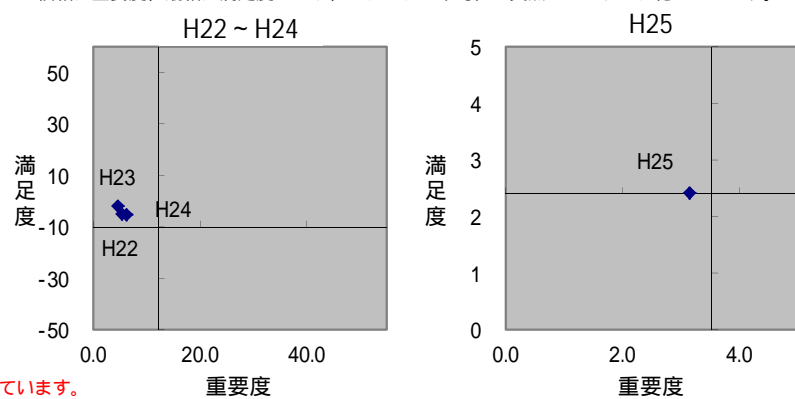
< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	地域文化とひとが輝くまちづくり
	基本施策(中項目)	歴史と文化が輝くまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民に郷土の歴史や文化に興味や関心を持ってもらうため、企画展や講座を開催する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	市民一人ひとりが文化に触れたり創造に関わることは、個々の個性を伸張させ、周囲への発信や協働を通じて地域社会を活性化させることになる。文化芸術活動に主体的に参加し、文化芸術を創造していく機会を拡充するとともに、新しい文化芸術活動を創造し発信していくための環境を整備する。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術活動の推進 文化施設の適正な管理運営 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	5.4	6.2	4.6	3.2
満足度(%)	- 4.9	- 5.2	- 1.9	2.4

横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p>< 見直し領域 > その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p>< 維持領域 > 現状の方向を継続</p>
	平均	
	<p>< 検討領域 > その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p>< 強化領域 > 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ← 重要度 → 高	

H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	備前市民の多くが歴史に恵まれたまちであるという意識は持っていると考えられる。しかしながら、市民が求めている学びへの探求心が充足していない。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
岡山県子ども備前焼作品展応募者数	目標	人	1,000	1,000	800		H25	800
	実績	人	779	566	596	国際終了のため、継承事業の応募者数	H28	800
	達成率	%	77.9	56.6	74.5		-	-
	ベンチマーク						-	-
歴史民俗資料館入館者数	目標	人	2,800	2,600	3,000		H25	3,000
	実績	人	1,991	3,066	2,765	年間入館者数	H28	3,000
	達成率	%	71.1	117.9	92.2		-	-
	ベンチマーク						-	-
加子浦歴史文化館入館者数	目標	人	3,250	3,250	2,900		H25	3,000
	実績	人	3,359	2,586	2,879	年間入館者数	H28	3,000
	達成率	%	103.4	79.6	99.3		-	-
	ベンチマーク						-	-
吉永美術館入館者数	目標	人	700	700	800		H25	800
	実績	人	476	789	718	年間入館者数	H28	800
	達成率	%	68.0	112.7	89.8		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 < 成果指標の妥当性 > 施策の目的・成果を表現しているか?	4	国民文化祭の成果を継承することも備前焼作品展は、地域の文化を受け継ぐ事業で、3年度目となる24年の応募者は少し増加した。岡山県を代表する産品でもあり、県民文化祭協賛事業の位置づけも得ており、今後も応募者の増を目指して、継続していく必要がある。				
2 < 事業構成の妥当性 > 手段は最適か?	3	地域の歴史・文化を多くの市民に学んでもらうことが大切だが、魅力的な企画を考える必要がある。				
3 < 施策の有効性 > 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	備前焼をはじめ、閉谷学校に代表される教育、伝統的漁法、各地の祭礼、地域が輩出した文学ほか、さまざまに誇れる文化があるが、十分、市民に伝えていく必要がある。				
進行年度(H25年度)の取組内容 (課題解決状況)		子ども備前焼作品展は第4回として継続実施する。一般への周知等のため、本年度は、備前焼まつり初日に表彰することとしている。資料館企画は斬新な企画展を実施し、この地域の魅力を掘り起こしたい。また、より身近に感じてもらうようワークショップを開催する。				
翌年度(H26年度)の取組目標		上記事業を継続実施するとともに、25年度策定の歴史文化基本構想に沿った、特色ある地域の魅力を広く市民に知っていただくよう企画展等を展開する。				
二次評価者コメント		本市は、古い歴史を持っていますが、それは地域ごとに発展の歴史が異なっている。それぞれの歴史を尊重しながら、地域の特色をわかりやすく解説する企画展なども検討してください。				基本施策への 貢献度 3 中立
役職	教育次長					
氏名	岩崎 透					

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）											施策への 貢献度
			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
1 文化活動推進事業	備前吹奏楽フェスティバル事業	単市	109	573	0.07	109	678	0.08	109	440	0.05	105	* H22終了	
	こども備前焼作品展事業	単市				300	2,223	0.25	389	2,393	0.26	360		
	国民文化祭関連事業	補助	3,172	10,446	1.22									
2 歴史民俗資料館管理運営事業	歴史民俗資料館管理運営事業	単市	13,118	184	0.02	8,059	916	0.11	7,470	1,412	0.16	8,821		
3 加子浦歴史文化館管理運営事業	加子浦歴史文化館管理運営事業	単市	5,065	5,984	0.77	5,520	6,221	0.78	5,123	6,323	0.80	5,886		
4 吉永美術館管理運営事業	吉永美術館管理運営事業	単市	1,529	581	0.06	1,687	7,332	0.72	618	64	0.01	740		
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
			22,993	17,768	2.14	15,675	17,370	1.94	13,709	10,632	1.28	15,912		